

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム南濃 福寿苑

## 目標達成計画

作成日: 平成 28 年 3 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	・身体拘束に対する職員の意識不足	・施設の全職員が身体拘束に関する知識を十分に持ち、「身体拘束をしないケア」を実践する	・外部研修に参加した後、施設の会議でも社内研修を行い全職員が知識を学び意識の向上を目指す	3ヶ月
2	6	・つなぎ服着用にあたって必要な書面の作成が不十分	・書面の作成など必要な手続きを取る ・つなぎ服の廃止に向けて積極的に取り組む	・不十分であった書面を、記録を整理して作成する ・洋服着用の時間を経過観察しながら徐々に増やし、検討を重ねて全廃に繋げる	1ヶ月
3	35	・地域住民との交流が不足しており、災害時における地域住民の協力体制ができていない	・施設を地域住民に周知してもらう ・避難訓練に地域住民の参加	・施設のイベント開催のお知らせやおたよりを出入り口に貼りだしたり自治会長に回覧を依頼 ・自治会、老人会、消防団の集まりに顔を出し、施設を紹介 ・散歩時など日常的な挨拶で顔をつなぐ	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。